



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html
枚方市立西長尾小学校

令和3年 4月号

＜西長尾小学校のめざす児童像＞

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、考
えて行動できる子ども）
3. 心身ともに健康な子ども

ご入学、ご進級、おめでとうございます。

今年度、西長尾小学校に校長として着任しました武田正道と申します。これまでの良き伝統をしっかりと受け継ぎ、ご家庭・地域の皆様方と共に、子どもたちの健やかな成長のため、教職員一同、よりよい教育活動を研究・実践していく決意でいます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私たちは今、急かされて生きています。

概ね、「スピードが速いという事は良い」という考え方の社会に生きています。生活に必要なものはインターネットを活用すればほとんどすぐに手に入るような便利な時代です。

わからない事はパソコンで調べたらすぐに知ることができたり、地球の裏側で起こっていることもリアルタイムで知ることができたりもします（その手に入れた情報が正しいかどうかを判断して実際に行動するのは自分自身です）。

そうしたことを日々積み重ねて生活しています。そこで少し立ち止まって考えてみたいと思います。私たちは、知らず知らずのうちに、すべてにおいて速いことは正しいこととか、いつも速くしなければ、という考え方が習慣のようになっていることがありませんか？ 今の社会全体は、そんな感じがしています。

つまり、じっくり考えて判断をするための時間が、自然な形であまり用意されていないように思うのです（特にSNSでのやり取りなど）。

新学習指導要領で「主体的・対話的で深い学び」を創ることが重点とされていますが、私はこの重点は、授業の中だけでなく、日常の中で意識しなければならないと思っています。

つまり、意図的に考える時間を作るということです。

それはとても簡単な方法で意識していくことができます。その方法の一つは、「他の人の話を最後まで聞く」ということです。

相手が何を言いたいのか、何を伝えたいのかを丁寧に聞こうとする態度は、深い思考の入り口です。日常的にこれを積み重ねることで、漸進的に思考力は深まってくると考えます。学校内全体にそうした、丁寧さや深さ、言葉を吟味することの楽しさ等を広げていけたらと思っています。

入学式の式辞で、私は1年生のみなさんに「人のお話しは、最後まで聞きましょう。他の人のお話をきちんと聞ける人は、思いやりのある、優しい人です。思いやりの力は、相手のお話を聞くところから育ちます」と話しました。実はこれは、すべての学年の児童に伝えたい言葉です。

すべての児童が、心を通わせる力を磨き、いきいきと学ぶことができる学校をめざし、教職員一丸となって努力していきます。保護者の皆様におかれましては、これまで同様、本校の教育活動にご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。